

**平成29年度  
事務事業・施策評価シート  
各様式の見本**

PDCAサイクルを意識できるように、それぞれの記載項目ごとにP(計画)、D(実施結果)、C(評価)、A(改善)を分けて記載する

## 平成29年度 事務事業評価シート

様式1

事業の概要								
事務事業	事務事業コード	事務事業名			実施計画の記載			
	10201010	防犯対策事業			有			
担当	所属コード	所属名						
	251700	市民文化局市民生活部地域安全推進課						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)			
	昭和55年	—	その他	その他	—			
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) ○○に関する法令、○○に関する条例、○○に関する要綱							
総合計画と連携する計画等	○○方針、○○計画							
行財政改革プログラムに関連する課題名	改革項目			課題名				
	2-(11)市民サービス等の再構築			6 地域安全施策の更なる推進				
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額
	財源内訳	事業費 A	570,791	563,505	637,950	637,950	637,950	637,950
		国庫支出金	45	-	54	-	54	54
		市債	0	-	0	-	0	0
		その他特財	1,519	-	1,573	-	1,573	1,573
	一般財源	569,227	-	636,323	-	636,323	636,323	
人件費 <sup>※</sup> B			66,320	66,328	65,600	65,600		
総コスト(A+B)			704,270	704,278	703,550	703,550		
人工(単位:人)			8.29		8.2			

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

①総合計画と連携する計画を中心に記載し、関連する計画の進行管理を効率的に実施できるようにする

②行財政改革プログラムに関する改革項目等を記載し、エクセルの別シートで同時に進行管理する

計画 (Plan)		
政策体系	政策	安心して歩ける安全なまちをつくる
	施策	防犯対策の推進
	直接目標	市内で発生する犯罪を未然に防ぐ地域づくりを進める
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民、自主防犯活動団体、町内会・自治会など	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	防犯活動を推進することで、安全・安心なまちを実現します。	
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	地域で発生する空き巣等の犯罪の防止に向け、多様な主体と連携して、パトロールなどへの支援による自主防犯活動を推進したり、防犯カメラの設置を補助するなどの取組を進めます。	
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組)	①多様な主体と連携した防犯意識の普及啓発や防犯活動の推進 ・「安全・安心まちづくり協議会」によるパトロールや見守りなどの自主防犯活動の実施 ・各種イベント等における広報啓発活動の実施 ・地域で活動する自主防犯活動団体への支援 ②防犯カメラの設置補助の実施 ③防犯灯のLED化を推進するESCO事業による防犯灯の維持管理の実施 ④安全・安心まちづくり対策員による地域パトロールと住宅の防犯診断の実施 ⑤出張防犯相談コーナーの開設 ⑥犯罪被害者等支援相談の実施	
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)	⑦「かわさき安全・安心ネットワークシステム」の構築【新規】	

③事業の対象、目的、手段を分けて記載し、何のために事業を行っているのか、本来の目的を再認識させる

④実施計画に記載されている取組を記載する

⑤④で記載した取組がどれだけできたのか、達成度を確認する【計画の進行管理としての要素】

実施結果 (Do)		
上記「当該年度の取組内容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等 (上記「当該年度の取組内容」に対し、「数値等により具体的に実績を示すこと」ができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載)	目標どおり達成できました。 ②の防犯カメラの設置補助については、制度及びガイドラインを制定し、26台の補助を実施 ③のLED化工事については、49,931灯の工事を実施 ④の安全・安心まちづくり対策員による地域パトロールについては、毎日実施しました。住宅の防犯診断については希望者の申し込みに応じて実施するものであるため、目標値には届きませんでした。高齢者施設等におけるPRを強化した結果、前年度を大きく上回る53回の実施結果となりました。 ⑤の出張防犯相談コーナーについては、振り込め詐欺の被害増加に伴い、啓発放送を行いながらのパトロールを強化したため、35回の実施にとどまりましたが、今年度から老人いこいの家や老人福祉センター等での開催を開始しました。 ⑥の犯罪被害者等支援相談については16回実施 ⑦については、警察や、教育機関、市などがそれぞれ把握している犯罪情報等を一元化し、各機関において情報を共有するとともに、スマートフォンのアプリケーション等を活用して市民に向けた情報配信を行いました。	

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
1 活動指標	住宅の防犯診断の実施件数 説明 空き巣など侵入泥棒への防犯対策として行う住宅の防犯診断の実施件数	目標		100	100	件
		実績	28	53	○	
2 活動指標	出張防犯相談コーナーの開催回数 説明 区役所等で開催する、防犯相談や防犯用品の展示等を行うコーナーの開催回数	目標			40	回
		実績	16	34	○	
3 成果指標	市内刑法犯認知件数 説明 県警発表による市内の空き巣等の刑法犯認知件数(年度ではなく暦年)	目標		10,500	10,400	件
		実績	9,458	9,177	○	

『有効性』と関連

⑥④で記載した取組のうち、数値で把握できる取組やその結果得られる効果について、経年的に見ることで、事業の活動実績や効果を把握する

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b> <small>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)</small>	刑法犯認知件数については、ピークであった平成14年から連続して減少してきて、継続的な防犯対策の取組が求められています。	『必要性』と関連	の増加に
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	『効率性』と関連	
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>	H27年度: 防犯灯の維持管理主体を町内会・自治会から本市に移行するESC H25年度: ○○について、仕様書を見直し、委託料を削減しました。 H24年度: ○○について、普通郵便で郵送していたものをメール便に変更し、経費を削減しました。 H23年度: ○○について、仕事を効率化し、業務の一部を廃止しました。		

⑦事業環境と取り巻く社会環境の変化を記載する

⑧直近5年程度の事業の見直し履歴を記載することで、今までの事業の見直しや改善内容を可視化し、努力の成果を見せていく

評価項目		評価	
必要性	<b>【市民のニーズ】</b> 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	<b>【市が実施する必要性】</b> 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？	a. ない b. ある	a
	評価の理由	刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、単身高齢者世帯が増えることも予測されることから、今後も地域の安全性を維持するため、継続的なパトロールの実施が必要であり、さらには振り込め詐欺など新たな犯罪も増加傾向にあることから、町内会等とも連携しながら継続的に行政が保っていく必要があります。	
有効性	<b>【成果】</b> 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
	評価の理由	成果指標も目標値をほぼ達成している。現在市が直営で行っている部分について、専門性の高い業者に委託することで、事業の成果をさらに高めることができる余地があります。	
効率性	<b>【民間の活用】</b> 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	<b>【事業手法等の見直し】</b> 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	<b>【質の向上】</b> 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a
	評価の理由	・市が直営で行っている○○については、委託化が可能であり、それに伴いコストの削減も見込めます。 ・今年度、△△△を行ったことで、ESCO事業の推進に大きく近づくことができました。	

⑨必要性(⑦と関連)、有効性(⑥と関連)、効率性(⑧と関連)の視点で、前述の関連する項目との整合性を図りながら、客観的な事務事業の評価を行う【計画の評価としての要素】

⑩事業の評価結果等から、上位施策にどのように貢献しているのか、貢献度区分と選んだ理由を記載する【計画の評価としての要素】

施策への貢献度	貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	<b>B</b> 市内刑法犯認知件数は、平成28年度の目標値に達成しなかったものの、活動指標としてのLED防犯灯の灯数の設置を上回ったこと、また、地域団体等による地域のパトロールの実施等を順調に実施できたことから、一定程度の施策への貢献はありました。

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	<b>II</b> 住宅の防犯診断件数は、目標値達成に至らなかったことから、広報や周知の手法等について改善を図る必要があります。また、今後は、地域団体等による地域のパトロールの実施をより強化し、安全・安心なまちづくりを推進していきます。

⑪実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性を記載する



番号	主要な取組	今年度の主要な取組内容	主要な取組内容の実績等	事業費(千円)		達成度	
				予算額	決算額		
				H27年度	H28年度	H29年度	
4	地域における子ども・子育て支援の推進						
		その他の取組の実績等					
		①成果	②数値として把握できる主な指標 (指標の説明)	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度
				目標			
			指標の説明	実績			
		①成果や②指標を踏まえた評価					
5	安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上						
		その他の取組の実績等					
		①成果	②数値として把握できる主な指標 (指標の説明)	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度
				目標			
			指標の説明	実績			
		①成果や②指標を踏まえた評価					
6	交通安全と自転車対策の推進						
		その他の取組の実績等					
		①成果	②数値として把握できる主な指標 (指標の説明)	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度
				目標			
			指標の説明	実績			
		①成果や②指標を踏まえた評価					
7	区民サ上事業	「地域課題対応その他事業」と「区の新たな課題即応事業」の取組実績について、記載する事項があれば実績や成果を記載する	②数値として把握できる主な指標 (指標の説明)	目標・実績	H27年度	H28年度	
				目標			
				指標の説明	実績		
			①成果や②指標を踏まえた評価				
その他の取組	取組内容の実績等		成果				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●○○地域の街路樹の調査を行い、公道上に落下する恐れのある枯枝や枯木について、伐採や除去を行いました。</li> <li>●区の窓口混雑への対応として、スマートフォンから待ち時間を分かるようにシステム改修をしました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●公道上に落下する恐れのある枯枝や枯木について、伐採や除去を行った結果、○本の樹木を撤去等し、落下による事故を未然に防ぐことができました。</li> <li>●スマートフォンから区役所の窓口の待ち時間を分かるようにすることで、混雑時間が平準化され、待ち時間が短縮されました。</li> </ul>				
上記の取組内容に対する事務事業の総合的な達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
<b>3 地域課題の解決に向けた今後の方向性</b>							
区分		主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性					
地域課題の解決に向けて…… I 現在の取組をそのまま継続する II 取組を多少改善する必要がある III 取組を改善する必要がある IV 取組を抜本的に見直す必要がある		II	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要な取組1の「地域資源を活かしたまちづくりの推進」における△△△の取組について、○○に影響等が発生していることから、事業手法を見直す必要があります。</li> <li>●主要な取組○の「□□□□」における……</li> </ul>				

事務事業全体の達成度 (区計画に記載した取組内容に対する達成度)は、他の事務事業と同様に達成度を集計する必要があるため、主要な取組ごとに選択した達成度を参考に、全体を総括した達成度を選択する

事務事業を構成する主要な取組の評価や総合的な達成度を踏まえた今後の方向性を記載する

事務事業の見直し・改善等につなげるため、**事務事業の概要**(事務事業の名称、事業の内容、実施形態、実施根拠、予算額、人工等)や、**事業の点検**(事業の見直し状況や効率性等)等に関する情報を基に**毎年度点検**を行う。

## 平成29年度 事務事業点検シート

様式3

事業の概要									
事務事業	事務事業コード	事務事業名							
	81105010	文書管理事務							
担当	所属コード	所属名			担当者	連絡先			
	163100	総務局情報管理部行政情報課			〇〇〇	〇〇〇〇			
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)				
	—	—	—	—	内部管理				
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	公文書の管理・指導(文書事務研修、文書主任研修含む。)、公印管理、公印審査、印刷物の庁内作成、郵便物(メール便、宅配便含む。)の発送、庁内便の集配業務の管理、公文書の引継ぎ・保存・廃棄及び文書管理システムの運用・管理・指導(システム操作研修含む。)を行い、全庁的な行政事務全般の適正な執行を推進します。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠 (法令・要綱等)	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 川崎市公文書管理規程、川崎市公文書管理規則、川崎市公印規則								
関連する計画等	〇〇方針、〇〇計画								
行財政改革に関する計画上の関連する課題名	改革項目			課題名					
	1-(11)〇〇〇〇			3 〇〇〇〇					
予算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額	
	事業費 A	570,791	563,505	637,950	637,950	637,950	637,950		
	財源内訳	国庫支出金	45	—	54	—	54	54	
		市債	0	—	0	—	0	0	
		その他特財	1,519	—	1,573	—	1,573	1,573	
		一般財源	569,227	—	636,323	—	636,323	636,323	
	人件費 <sup>※1</sup> B			66,320	66,320	64,800	64,800	64,800	
	総コスト(A+B)			704,270	704,270	702,750	702,750	64,800	
	人工(単位:人)			8.29			8.1		

①関連する計画を中心に記載し、関連する計画の進行管理を効率的に実施できるようにする

②行財政改革プログラムに関する改革項目等を記載し、**エクセルの別シートで同時に進行管理**する

事業の点検	
事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)	〇〇法の改正に伴い、〇〇業務を見直すなど、新たな課題に対応する必要があります。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施  具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 H28年度: 〇〇について、仕様書を見直し、委託料を削減しました。 H26年度: 〇〇について、普通郵便で郵送していたものをメール便に変更し、経費を削減 H25年度: 〇〇について、仕事を効率化し、業務の一部を廃止しました。

『効率性』と関連

③直近5年程度の事業の見直し履歴を記載することで、今までの事業の見直しや改善内容を可視化し、努力の成果を見せていく

点検項目		区分	
効率性	【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地がある	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地がある	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a
上記項目を選んだ理由	市が直営で行っている〇〇については、委託化が可能であり、それに伴いコストの削減も見込まれます。		

④『効率性』(③と関連)の視点で、前述の『事業の見直し・改善内容』との整合性を図りながら、**適切な事務事業の点検**を行う

今年度の取組実績
公文書の管理・指導、公印管理、公印審査、印刷物の庁内作成、郵便物の発送、庁内便の集配業務の管理、公文書の引継ぎ・保存・廃棄及び文書管理システムの運用・管理・指導を行い、全庁的な行政事務全般の適正な執行を推進しました。

⑤今年度、具体的にどういった取組を行ったのか記載することで、実績を記録として残していく

今後の事業の方向性	
方向性区分 I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了  II	上記事業の点検等を踏まえた今後の方向性 文書事務は、行政事務の根幹業務であり、文書事務を適正に行うことが行政事務全般の適正な執行を推進することになるため、職員への適切な指導・研修、印刷業務、文書集配業務等を継続して実施します。

⑥『事業の点検』や『今年度の取組実績』を踏まえ、今後の方向性を記載する





### 3 施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事務事業コード 事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費(千円)		事業の達成度	施策への貢献度	今後の事業の方向性
					予算額	決算額			
1	1210001 防犯対策事業	その他	市民、事業者、地域の防犯関連団体、警察、行政等が連携・協働し、犯罪のない安全・安心な川崎をめざした取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防犯活動団体への支援</li> <li>●安全・安心まちづくり推進協議会を中心とした地域団体等による地域の「ゼロ」の実現</li> <li>●防犯灯の「ゼロ」化を重点に向けたESCO事業による防犯灯交換の実施</li> <li>●安全・安心まちづくり対策員による防犯診断・ゼロの実施</li> </ul>	165	165	3	A 貢献している	I 現状のまま継続
					170	170			
					200	200			
2	11103030 路上喫煙防止対策事業	イベント等	路上喫煙から歩行者の安全を守るため、喫煙のルール遵守の普及啓発や重点区域における指導・巡回活動を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●路上喫煙防止指導員による巡回活動指導、啓発等の実施</li> <li>●ポイ捨て禁止と連携した路上喫煙防止キャンペーンの実施(開催回数:85回以上)</li> <li>●路上喫煙通行調査の実施</li> <li>●路上喫煙防止重点区域の拡大等に向けた検討・実施(溝口駅南口広場等)</li> </ul>	1,125	1,123	3	B やや貢献している	II 改善しながら継続
					1,351	1,351			
					1,135	1,135			
3	11101050 客引き行為等防止対策事業	参加・協働の場	商店街等を訪れる市民等が安心して公共の場所を利用することができるよう、「客引き行為」等の防止に向けた取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●客引き行為等防止の重点区域の指定(川崎駅東口周辺)</li> <li>●商店街や泉警と連携した条例の周知や防止キャンペーン等の実施(開催回数:2回以上)</li> <li>●客引き行為等防止指導員の巡回活動による指導、啓発等の実施</li> </ul>	10,203	10,203	3	B やや貢献している	I 現状のまま継続
					10,202	10,202			
					10,030	10,030			
4	11103020 消費生活相談情報提供事業	公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等	消費生活に関する相談に対し必要な情報提供等を行い、消費者被害の救済及び未然防止を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消費生活相談に係る相談窓口体制の強化・休日の相談受付の試行</li> <li>●「次期消費者行政推進計画」(H29からH31)の策定</li> <li>●消費者行政センターの組織及び運営等に関する条例施行・消費生活相談員等に対する研修機会の確保</li> </ul>	318	318	3	B やや貢献している	II 改善しながら継続
					336	336			
					353	353			
5	11103010 消費者啓発育成事業	その他	消費者被害の未然防止及び消費者の自立を支援するため、消費者教育の効果的な推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年齢や特性に応じた消費者教育の展開</li> <li>●ホームページやメールマガジン等を活用した情報発信の充実</li> <li>●出前講座、講演会の実施</li> </ul>	371	371	3	B やや貢献している	II 改善しながら継続
					388	388			
					406	406			
6									
7									
8									
9									
10									

⑧事務事業の概要を記載する

⑨効果があった事務事業の取組を抽出し、簡潔に記載する

⑩経年の事務事業の達成度、事業費を確認できるようにする

⑪事務事業シートから、参考になる情報を転記する

⑫指標の自動判定の結果を中心に定性的な成果、施策の効果等から、総合的に評価する。

### 4 施策の達成状況

施策の達成状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業の評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	達成状況区分を選択した理由
	A. 順調に推移した(目標を達成した) B. 一定の進捗があった(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった) C. 進捗が遅れた(現状を下回るものが多くあった) D. 進捗は大幅に遅れた(現状を大幅に下回った)	B	B

⑬施策の成果等を見ながら、上記事業構成を確認し、次年度以降の事業の見直しや新たな事務事業の検討などが必要かどうか分析し、それらを踏まえて今後の方向性を記載する

### 5 今後の方向性

今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か?)	区分	選択区分	「事業構成の妥当性を選択した理由」及び「今後の方向性」
	I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する) II 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある) III あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい) IV 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)	II	II